

今回から次回号にかけて、カナダに渡り約半年が経過した、旭陵留学第15期生の加藤はるひさんと今井みなみさんの体験レポートをお届けします。まずはカナダ・アルバータ州にてホームステイをしながら地元の公立高校に通っている加藤はるひさんから紹介します。



ホストマザーとの一枚。

私のホストファザー、マザーはともに仕事を引退しています。彼らはとにかく優しく、宿題を手伝ってくれたり、私が学校でうまくいかないときはいつでも優しくハグしてくれます。

カナダに来てから5ヶ月がたち、今の気持ちは"留学ってすごく大変だ！"です。また、それと同時に感じていることは、留学は自分を成長させてくれる"素晴らしい機会"だということです。最初の頃は、言いたいことが言えないことにもどかしさを感じたり、自分の言っていることが思っていた以上に伝わらず、英語を話すことがだんだんと怖く、億劫になってしまいました。しかし、このままでは留学している意味が無いので、状況を変えるために、意識していることがあります。それは、文章で会話をする、自分から会話を切り出す、分からないところは携帯を使うのではなく、先生か友達にきくということです。英語で話しかけることは私にとって勇気がいる行動です。でも、それをする事で自分の成長に繋がると思うし、ホストや友達ともより仲良くなれました。この5ヶ月はとて大変だったけれど、たくさんを経験し、たくさんを吸収することが出来ました。留学して良かったと胸を張って言えるように、残りの5ヶ月を過ごしたいと思います。

学校ではジャズバンドに参加しています。私のパートはピアノです♪

ジャズバンドの練習は放課後ではなく朝なので、練習があるときは早起きしなければならないのが辛いです。

あと、練習している曲が驚くほど多くあります！！10曲くらい同時進行して練習しています....。

4月にはシアトルツアーに行きます。今からとても楽しみです♪(^^)♪



クリスマスツリー前にて



ハロウィーンでゲットしたお菓子の数々☺☺☺

